**ジョシュア・タン（指揮）**

**JOSHUA TAN, Conductor**

シンガポール出身でニューヨークのジュリアード音楽院を卒業。中国国家大劇院管弦楽団レジデント・コンダクター、シンガポール交響楽団アソシエイト•コンダクターを経て、シンガポール・ナショナル・ユース・オーケストラの首席指揮者を務めている。

2008年、ミトロプーロス国際指揮者コンクールで第２位を受賞し、カーネギーホール、ベルリン・フィルハーモニー、マリインスキー劇場をはじめ、東京、北京、上海、台湾などへのデビューをきっかけに国際的な活動を展開。

これまでに、マリインスキー劇場管、ボン・ベートーヴェン管、フランス国立ロワール管、シドニー響、メルボルン響、ニュージーランド響、香港フィル、台湾フィル、上海響、都響、東京フィル、札響といった世界各地のオーケストラを指揮。ジェイムズ・デプリースト、シャルル・デュトワ、デイヴィッド・ジンマン、クルト・マズアらに学び、マイケル・ティルソン・トーマスや、インゴ・メッツマッハ―、ジョージ・マナハンのプロジェクトにも参加している。

オペラでは、《椿姫》、《リゴレット》、《ラインの黄金》、《さまよえるオランダ人》、《ローエングリン》、《カルメン》、《ドン・ジョヴァンニ》、《蝶々夫人》、《コジ・ファン・トゥッテ》、《トゥーランドット》をはじめとする多くの作品を指揮。また、バーンスタイン「ミサ曲」のシンガポール初演を指揮し、Straits Times紙の2018年ベスト・クラシック・コンサートに選ばれた。その翌年には、オペラ《ドン・パスクワーレ》の指揮で同賞を２年連続で獲得する快挙を成し遂げた。

今シーズンは、フランス国立ブルターニュ管、神奈川フィルへのデビューの他、香港フィル、上海響、国立台湾響、都響などと再共演。シンガポール・バレエでは《ロメオとジュリエット》、《シンデレラ》、《コッペリア》、《くるみ割り人形》、オペラでは《カルメン》、《魔笛》を指揮する。